

アグリサポート倶楽部会員寄稿

農産 HACCP の取得のお勧め

有限会社バンテージ
代表取締役 中野秀晃

2008年2月・3月、日本農業法人協会が主催した日本産農産物商談会の香港・シンガポールに参加して、日本産農産物を輸出するにあたり、日本産農産物が、海外でどのように受け取られているか? どのような点に気をつければよいか? 等につき、いろいろ感じた点を述べさせていただきます。

特筆すべきは、日本産農産物の海外での評価は、非常に高い点であります。特に安全性への評価は、国内では、想像できないくらい高く評価されており、今後この点は、日本産農産物の海外での販売戦略の中心となり、その評価をいかに持続していくかが、日本産優良農産物の、高価格での安定的な輸出のための重要なポイントとなるとと思います。

しかし、現在の一方的な高い評価は、客観的根拠に基づいていないものがあり、根拠なき安全神話である可能性があります。むしろバブルではないかと思われるぐらいです。海外で販売されている日本産農産物は、どれも素晴らしいものであり、安全面、品質面においても問題はないと思いますが、国際的に通用する安全、安心の評価基準に則ったものであるかどうかについては、今後の問題点として残るものと考えられます。



香港 CITY SUPER での ディスプレイ
日本製品の表示はあるが、国際認証の表示は、見られない。

日本産であることの表示は、製品にしっかり表示されていますが、そこに記載されている内容は、第三者によって評価されたものではなく、国際基準による厳しい評価に耐えるか? という点に問題が残ると思います。



中国製品 HACCP、ISO22000の認証マークを製品に表示

現在国内においても、食の安全に関する問題が頻発しており、いずれは海外へも伝わり、日本産農産物への安全神話が崩れたとき、被害を受けるのは、まじめに安心、安全のために努力していた国内の生産者ではないでしょうか?

今後、国内で世界に通じる優秀な農産物を生産、加工し世界へ輸出しようと考えている生産者にとって、現在の消費者の信頼、自社のブランドを守るために、「国際的に通用する正しい HACCP」の認証取得は、喫急の課題になってくるものと考えられます。HACCP が食品安全を確保するための最良の仕組みであることは、すでに国際的に認められていることです。

しかし、ここにもひとつ大きな問題が、隠されておりまして。

現在、日本国内で行われている HACCP が、果たして「国際的に通用する正しい HACCP」なののでしょうか? この問題については、今回は、紙面の関係もありますので、詳しく述べませんが、農産物への HACCP の導入は、日本では、大幅に遅れており、むしろ間違った方向づけが行われているものと思います。

HACCPは、天然物を除くすべて、人の手が加わるものに対して、その安全性を自ら証明するものとして開発、奨励されており、そのためには、コーデックの考えに沿った「国際的に通用する正しいHACCP」の実施が必要となります。また販売上も「国際的に通用する正しいHACCP」の認証マークが製品に表示されていることは、世界市場においても、製品の安全性を消費者に対して証明するものとして、今後ますます重要になってくるものと思います。



中国産 卵 HACCP/ISO22000 認証

では、どのようにすれば「国際的に通用する正しいHACCP」の認証を取得できるか？ どのようにすれば自社の農水畜産物が安全に生産されていることを、認証マークを通じて消費者に知らせることが出来るか？ については、紙面の関係上、次回に譲りたいと思います。

(有)バンテージ 代表取締役 中野秀晃
SQF/HACCP/CSR 審査員
ISO 22000 JFARB F0035
ISO 9001 IRCA 01192884
HACCP インストラクター

法人協会ニュース

適正農業管理GAP導入シンポジウムの開催について

3月9～10日、第20回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会をつくば市内で開催いたします。「適正農業管理が日本農業を救う」と題して、標記のシンポジウムやGAP導入講座他が開催されます。詳しい内容をお知りになりたい方、参加をご希望される方は、農業情報学会のHPをご覧ください。(http://www.jsai.or.jp/)

自社の経営に役立つ！「実践企業的経営体養成研修会」が開催されます

当協会では、第20回総会・セミナー等(3月5日～6日)と連携して下記研修会を開催いたしますので、社員研修等にも活用をご検討ください。詳細はHPをご覧ください。

<第5回 東京開催>募集中！

テーマ：「セールスプレゼンテーションと部下育成・労務管理力強化研修」

日程：3月3日(火)～5日(木)

場所：浅草ビューホテルTEL: 03-3847-1111
(地下鉄銀座線「田原町駅」徒歩7分
都営浅草線「浅草駅」徒歩10分)

受講料：無料(開催地までの交通費、宿泊費、昼食代等は各自でご負担下さい)

お問い合わせ：当協会 事業課 山中

第20回総会・春季セミナーを3月5日(木)・6日(金)に開催します

第20回総会にやむを得ず出席できない方へ

当協会よりお送りしている委任状に法人名、代表名等を記入して、FAX(03-3237-6811)でご返送ください。ご不明な点は当協会までご連絡ください。

本紙に関するお問合せは下記までご連絡ください。

アグリビジネス経営塾

発行：社団法人日本農業法人協会

HP：http://www.hojin.or.jp

TEL:03-6268-9500

FAX:03-3237-6811

e-mail：juku@hojin.or.jp

©(社)日本農業法人協会2008

本紙記事の無断転載を禁止します

